

様式第 48 (第 88 条関係)

×整理番号	
×受理年月日	年 月 日

液化石油ガス設備工事届書

年 月 日

新城市長 様

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名

住 所

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第 38 条の 3 の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	
当該設備の使用目的	
貯蔵設備の貯蔵能力	
工事の内容	

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
2 ×印の項は記載しないこと。
3 氏名 (法人にあつてはその代表者の氏名) を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

別 紙

設 備 工 事 の 内 容 等

工事従事者 氏 名	氏 名	設備士免状番号	氏 名	設備士免状番号
完成検査 実施者名				
気密試験 結 果	供給管等内容積	圧 力	気密試験保持時間	
	リットル	kPa	分	
貯 蔵 設 備	火気との距離	m		
	腐食防止措置			
	転落、転倒防止措置	鎖 ・ ロープ ・ その他 ()		
	40℃以下対策			
調整器メーカー・型式				
圧 密 部	高压部 材質			
	中圧部 材質			
	低压部 材質	埋設管	露出管	
気 化 装 置		有・無	ガス発生能力	kW
安 全 装 置		1		
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		

別紙（容器）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満のものに限る）

1. 保安距離	① 第1種保安距離（法定16.97m・障壁設置 0m）実際距離 m 保安物件の名称 ② 第2種保安距離（法定11.31m・障壁設置 0m）実際距離 m 保安物件の名称
2. 障壁	① 障壁の構造 材料 寸法（高さ） cm（厚さ） cm ② 扉の構造 材料（厚さ） cm ③ 扉の補強 等辺山形鋼（枠） mm× mm（内） mm× mm 間隔（縦） cm（横） cm
3. 火気取扱施設との距離	① 火気等の種類 火気等との距離 m ② 火気距離 障壁（材料） 高さ m
4. 滞留防止	① 貯蔵設備面積 m ² 法定換気口面積 cm ² ② 実際の換気口面積 cm ²
5. さく、へい等の設置	さく、へい等の種類
6. 警戒標	① 掲示位置 ② 表示内容
7. 消火設備	① 粉末消火器 ② その他
8. 軽量の屋根等	① 屋根の場合 その材料 ② 遮へい板の場合 その材料
9. 転倒防止等の措置	
10. 腐食防止措置	

別紙（バルク貯槽）

バルク供給設備の技術上の基準

1. 貯槽の設備状況	
2. 貯槽の適合性	
3. 保安距離	① 第1種保安距離（法定 1.5m 構造壁等又は埋設設置 0m）
	実際距離 m 保安物件の名称
	② 第2種保安距離（法定 1.0m 構造壁等又は埋設設置 8 m）
	実際距離 m 保安物件の名称
4. 構造壁等	壁の構造 材料 寸法（高さ） m（幅） m
5. 貯槽の表示	
6. 腐食防止措置	
7. 転倒防止等の措置	
8. プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	
9. 火気等との距離	① 火気等との距離 m
	② 火気距離が 2 m以内 防火壁等の設置の有無

案内図

平面図

配管図

緊急時連絡先

	名 称	電話番号	住 所
昼			
夜			

消 火 器

設置場所（容器置場平面図の通り）	消火能力（A-4,B-10以上）	数

貯蔵設備の写真

(消火器を写し込んだもの)

別紙

気密試験用器具一覧表

メーカー名	型 式	台 (個) 数

(注) 自記圧力計等のカタログを添付すること。

別紙

液化石油ガス設備士免状所有者名簿

氏 名	住 所	免状番号

(注) 免状の写しを添付すること。